



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2020年  
11月13日  
発行

## 第62回

## 「日本株見通し」

～日経平均は30,000円を越えて～

### 初めに

日本株の上昇が止まりません。11月12日の日経平均終値は前日比0.68%高の25,521円となりました。今回はこの上昇の背景と今後の見通しについてお話します。

### 日本株上昇の背景

この日本株上昇の理由については「出遅れの日本株買い」で片付けられてしまうことが多いような気がします。それ程単純なものではないと思います。自分が考える日本株上昇の理由は以下の3つです。①米国の大統領選でのバイデン氏勝利、②バイデン氏が打ち出した大型経済対策、③日本企業の好決算、この3つです。

### きっかけはバイデン氏勝利

大統領選とバイデン氏の勝利が株価上昇のきっかけになったことに異論を唱える方は少ないでしょう。選挙が行われたこと自体、不透明感の払拭に繋がり、バイデン氏勝利という結果も好感されました。

### バイデン氏の大型経済対策の効果はまちまち

解釈が難しいのが、バイデン氏の大型経済対策の効果です。11月10日付の日本経済新聞はバイデン氏が米経済立て直しのために4年で2兆ドルの巨額経済対策を検討していると報じました。

IT (情報技術)	急進左派が主張する巨大IT企業の分割論までは踏み込まず
税制	低所得者層に減税する一方、高所得者・大企業には増税
雇用	製造業支援に7000億ドル投資。 「500万人の雇用を創出」と主張
通商	環太平洋経済連携協定 (TPP) など新規貿易協定に慎重。トランプ大統領が中国製品に課した制裁関税見直しも
環境	環境・インフラ部門に4年間で過去最大規模の2兆ドル投資。 パリ協定への復帰を宣言。石油業界に逆風
新型コロナ	大統領就任初日から制御を最優先。全米でマスク着用を義務化。 「制御するまで経済は立て直せない」
人種	教育や就業機会の平等化。警察改革の推進

日経新聞11月10日朝刊3面  
『バイデン氏、米歳出10年で1000兆円増  
雇用立て直しへインフラに巨額投資』内の図表を引用

この経済対策は日本株にとってもプラスでしょうがこの記事は同時に、大手IT企業などへの増税や、規制強化などにも触れており、企業によっては逆にマイナスとなる可能性もあります。ここまでの日本株上昇の理由の1つではあると思いますが、評価が難しいところです。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。

## 好決算

今回の四半期決算発表で自動車や海運など好決算を発表した企業が多かったことも日本株の上昇になったと思います。新型コロナの影響が残っていると思っていたので、自分としては意外でした。

決算発表も株価を押し上げたと見ています。

## 今後の見通し

このように見て足元の日本株高については、単に出遅れ買いというだけでなく決算を評価した前向きな買いもあると見ています。そのため目先上昇余地は残っており日経平均は年内30,000円の可能性もあると見ています。